

文 教 厚 生 委 員 会 記 録
＜ 第 1 号 ＞

平成20年第2回沖縄県議会（6月定例会）

平成20年6月26日（木曜日）

沖 縄 県 議 会

文教厚生委員会記録<第1号>

開会の日時

年月日 平成20年6月26日 木曜日
開 会 午前10時52分
散 会 午前11時04分

場 所

第2委員会室

議 題

1 正副委員長の互選について

出席委員

委員 長	赤 嶺	昇 君
副委員 長	西 銘	純 恵 君
委 員	桑 江	朝千夫 君
委 員	佐喜真	淳 君
委 員	仲 田	弘 毅 君
委 員	翁 長	政 俊 君
委 員	仲 村	未 央 君
委 員	渡嘉敷	喜代子 君
委 員	上 原	章 君
委 員	比 嘉	京 子 君
委 員	奥 平	一 夫 君

委員外議員 なし

欠席委員

なし

説明のため出席した者の職・氏名

なし

○饒平名知徳議会事務局政務調査課主幹 文教厚生委員の選任につきまして、本日の会議において、委員会条例第5条第1項の規定によりお手元に配付の名簿のとおり選任されております。

一般選挙後、初めての委員会でありますので、委員長及び副委員長の互選を行う必要があります。

委員長の互選に関する職務は、委員会条例第7条第2項の規定により、年長の委員が行うことになっております。

出席委員中、渡嘉敷喜代子委員が年長者であります。

よって、渡嘉敷喜代子委員に臨時委員長をお願いいたします。

渡嘉敷喜代子委員、委員長席にお着き願います。

○渡嘉敷喜代子年長委員 ただいまから、文教厚生委員会を開会いたします。

委員会条例第7条第2項の規定により、年長の私が、委員長が互選されるまで委員長の職務を行います。

どうぞよろしくをお願いいたします。

なお、審査の進行上、ただいま御着席の席を仮の委員席として指定いたしました存じますので、御了承をお願いいたします。

これより委員長の互選を行います。

委員長の互選は、指名推選による方法と投票による方法がありますが、いずれの方法によるか御協議をお願いいたします。

休憩いたします。

(休憩中に協議した結果、指名推薦で行うことで意見の一致を見た。)

○渡嘉敷喜代子年長委員 再開いたします。

委員長の互選については、休憩中に御協議いたしましたとおり、指名推選によることといたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり。)

○渡嘉敷喜代子年長委員 御異議なしと認めます。

よって、委員長の互選につきましては、指名推選の方法により、私から指名いたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり。)

○渡嘉敷喜代子年長委員 御異議なしと認めます。

よって、私から委員長には赤嶺昇君を指名いたします。
これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり。)

○渡嘉敷喜代子年長委員 御異議なしと認めます。

よって、委員長には赤嶺昇君が当選されました。
ただいま委員長が選任されましたので、委員長と交代いたします。
休憩いたします。

(休憩中に、委員長着席。)

○赤嶺昇委員長 再開いたします。

委員長席にて就任のあいさつをさせていただきたいと思います。先輩方がおりますので立ってあいさつしたいと思います。同じ文教厚生委員会で前期4年間在籍させていただきました。さらに、少子・高齢対策特別委員会にも在籍させていただきましたので、今期の議会の中で少子・高齢対策特別委員会が廃止されるということでしたので、その特別委員会は本委員会のほうで少子、高齢化の部分が非常に大きな課題となっておりますので、そこは委員の皆様のご協力によってしっかりと拾っていき、実は本委員会で4年間で感じたことは一番忙

しい委員会であります。ベテランの先輩方もいる中で、私が委員長ということで大変大きな重責を担うという中で、どうしても委員の皆様方の御理解と御協力が必要であります。また、教育、福祉、医療、環境といろんな所管を網羅しておりますので一番忙しい委員会になろうかと思っておりますので、確実に県民の生活に直結するものですから、そこはしっかり皆さんのお力をいただきながら、一番元気のある委員会にしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上で、委員長の互選は終わりました。

これより副委員長の互選を行います。

副委員長の互選は、指名推選による方法と投票による方法がありますが、いずれの方法によるか御協議をお願いいたします。

休憩いたします。

(休憩中に協議した結果、指名推薦で行うことで意見の一致を見た。)

○赤嶺昇委員長 再開いたします。

副委員長の互選については、休憩中に御協議いたしましたとおり、指名推選によることといたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり。)

○赤嶺昇委員長 御異議なしと認めます。

よって、副委員長の互選につきましては、指名推選の方法により、私から指名いたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり。)

○赤嶺昇委員長 御異議なしと認めます。

よって、副委員長には西銘純恵君を指名いたします。
これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり。)

○赤嶺昇委員長 御異議なしと認めます。

よって、副委員長には西銘純恵君が当選されました。

ただいま副委員長が選任されましたので、ごあいさつを自席でお願いいたします。

○西銘純恵副委員長 1期目ですぐに副委員長ということですが、この委員会が教育、福祉や医療などという一番県民と直接相對する委員会だと思っております。それで委員長を補佐して、県民の願いにどのようにこたえていくかという立場もあわせて委員会が活発に4年間活動できますように補佐をしていきたいと思っております。御協力どうぞよろしくお願いいたします。

○赤嶺昇委員長 以上で、委員長及び副委員長の互選は終わりました。

次回は、7月10日 木曜日 本会議終了後委員会を開きます。

本日の委員会は、これをもって散会いたします。

沖縄県議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

年長委員 渡嘉敷 喜代子

委員長 赤嶺 昇